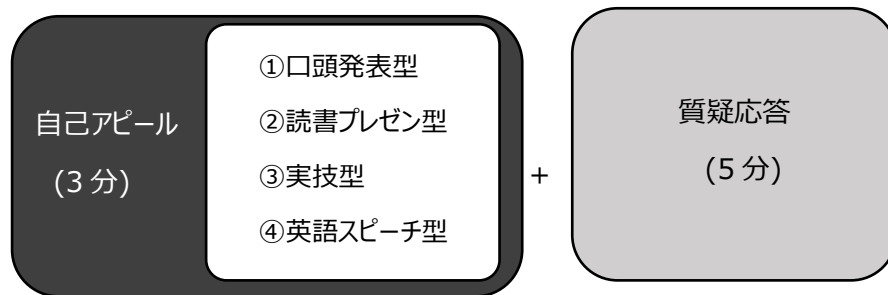


麗澤瑞浪中学校 自己アピール型入試ガイド

《自己アピール面接とは》

自分の特技や長所、体験から得たもの、そこから学んだことを面接官に対してアピールし、そのアピールの内容に基づく質疑応答を行う形の面接です。



当日、持ち込めるもの	当日、持ち込めないもの	学校で準備できるもの
・受験生本人が個人で持ち込める範囲の物品 (例)発表に使う資料及び原稿 (A4 用紙全 3 枚以内。文字情報を記載する場合は、受験生本人による手書きのみ可) - プレゼンに利用する本（読書プレゼン型のみ） - 実技に使用する道具類（実技型のみ） - 音楽再生機器（実技型のみ）	・受験生個人で持ち運びができない大型の機器 ・PC など映像や画像を再生することを目的とした ICT 機器、視聴覚機器等	・ピアノ ・運動用のマット ・CD プレーヤー

《自己アピール面接の流れ》

〈事前準備〉

- ・受験者本人が記入した「自己アピール申請書」を出願時に提出してください。（12 月 21 日(土)まで）

〈当日〉

- ・まず 3 分間で自己アピールをしてもらいます。
- ・その後、5 分程度の質疑応答の時間を設けるので、アピールした内容に対する面接官の質問に答えてください。

《自己アピール入試 評価のポイント》

- 自己アピール面接で評価の対象となるのは、そのことに打ち込んできた熱意や継続性、将来への発展性です。
- それぞれの実績や技術の巧拙を見るためのものではありません。これまで打ち込んできたことの魅力や打ち込んできたもの、中学校生活や将来に対する思いを、与えられた条件下で、相手にどれだけ訴えられるかを見ます。
- 自己アピール面接の目的は、受験者のプラス面を引き出すことです。アピールの内容をマイナス評価には用いません。

《自己アピールする内容について》

- ①口頭発表型：小学校時代の経験、これまで打ち込んできたものなどについて、口頭で説明をする。

〔発表テーマの例〕

- ・小学校時代の体験談と、その体験をどのような形で中学校生活や自分の将来に生かすかを述べる。
- ・これまで打ち込んできたものの魅力と中学校で取り組みたいこと、頑張りたいことについて発表する。
- ・社会や学校の抱える課題の指摘と、課題解決のために自分ができることの提案を行う。・・・など。

- ②読書プレゼン型：自分の好きな本について紹介する。

〔発表テーマの例〕

- ・その本のどこが好きなのか、その本がなぜ好きなのか、お勧めのポイントはどこかを紹介する。
- ・本を通じた自分自身の考え方や行動の変化、成長について述べる。・・・など。

- ③実技型：スポーツや音楽などの実技を披露し、口頭でもアピールをする。

〔発表形式の例〕

- ・アピールしたい実技の中から、特に相手に訴えたいところを選び、披露する（体育館でできない実技は不可）。
- ・取り組んでいるスポーツや音楽、活動の魅力について実技を交えながら伝える。・・・など。

- ④英語スピーチ型：①～③に基づいた内容について、英語で発表する。

〔発表テーマの例〕 上記参照

- * 簡単な英語で質疑応答を行う場面がある。
- * 試験官は外国人教員と日本人教員の 2 名とする。
- * 英検など、英語の資格に関する証明書がある場合は予め提出する。

《過去の発表事例》

過去の入試での発表内容（テーマ）は以下のとおりです。参考にしてください。

- ・継続的に取り組んできたスポーツや運動、習い事の経験から得られた自己の成長について
- ・小学校で与えられた役割の経験を通じて、自己の課題と向き合い、それを克服しようと努力していること
- ・趣味として続けてきたことを今後の中学校生活にどのように活かしたいか

など。

《自己アピール面接 Q&A》

Q1:自己アピール面接ではどのようなことをしますか。

自分の特技や長所、小学校時代に行ってきたことや体験など、自分の強みを面接官に伝えてもらいます。

スポーツ(本校にその部活動が存在している必要はありません)や音楽、特技などの実技を通じて自分の強みを伝えてもらうことも可能です。

発表の準備が整ってから、3 分の自己アピールタイムを設けますので、時間内で自由にアピールをしてください。その後、5 分程度、発表の内容に基づく質疑応答を行い、自己アピール面接は終了です。

Q2:自己アピール面接では、どのようなことが評価されますか。

自己アピール面接で見たいのは、自分の好きなもの・打ち込んできたもの・興味のあることの魅力を、他人に伝える力です。

大会やコンクールなどで入賞の実績があればもちろん評価はしますが、この試験は実績を評価することが目的ではありません。自分が打ち込んできた活動を通じて何を学び、考えたか、そのことを他者に伝える力を見て、評価します。

Q3:自己アピール面接の準備・練習はどのようにすればよいですか。

自己アピール面接では、事前に「自己アピール申請書」を提出してもらいます。申請書には、

- 1 何をアピールしたいのか（発表の内容）
- 2 どのようにアピールしたいのか（発表の方法）
- 3 どこを評価してほしいのか（評価してほしいところ）

を記入してもらいますので、①～③についてしっかり考えておいてください。（自己アピール申請書参照）

当日に向けては、アピールしたい内容が相手にしっかりと伝わるように、伝える内容をしっかり絞り込んで、順序良く伝えられるように準備をしておきましょう。

Q4:自己アピール面接はどのような会場で行われますか。

自己アピール面接では普通教室を使用します。ただし実技型の場合は、発表の内容に応じて音楽室（ピアノの準備が可能です）、体育館（運動用のマットのみ準備可能です）を利用することもできます。

Q5:自己アピール面接では、どのようなものを面接会場に持ち込むことができますか。

受験生が個人で持ち込める範囲の物品であれば、自由に持ち込むことができます。

合計A4用紙3枚以内であれば発表の資料や原稿の持ち込みも可能です（紙質は問いません）。資料への記載は片面・両面を問いません。ただし文字情報を記載する記載する場合は、受験生本人による手書きのみ可とします。

読書プレゼン型の場合は、上記に加え、紹介したい本を持ち込むことができます。

実技型の場合は、その実技に用いる運動器具や楽器・楽譜・音源を持ち込むこともできます。ただし録音されたものは評価の対象にしません。また映像の再生も評価の対象にしません。

スポーツや運動に関する実技を披露したい場合も、会場が普通教室または体育館になりますので、学校の教室や体育館の中でできる範囲のこと、また教室や体育館の床面や壁面を汚したり傷つけたりすることのない範囲での実技にしてください（外履きやスパイクシューズを履いての実技、ゴルフなど床面や壁面を傷つける可能性のある球技の実技は実施できません）。

学校側で準備できる機器は、ピアノ、運動用のマット、CDプレーヤーのみです。CDプレーヤーはオーディオCDを再生できるだけのものです。MP3、WMA、WAV形式の音源は再生できませんので、それらの音源を利用したい場合は、自分で再生機器を持ち込んでください。また、体育館での実施も可能ですが、バレーボール用のネット、バスケットゴール（小学校とはゴールの高さが違います）、卓球台などの準備はできません。

自己アピール申請書にアピールの内容や持ち込みを希望する物品を記入してもらいますので、実施が難しいものや持ち込みが不可のものが含まれていれば事前に連絡をします（事前の相談も受け付けます）。

その他、持ち込むことができないものは、パソコンやスマートフォンなどのICT機器・視聴覚機器です（持ち込み、映像を再生したとしても評価の対象にはしません）。

Q6:自己アピール型で受験する受験生は、学科試験や個別面接試験を行いますか。

自己アピール型で受験する受験生も、自己アピール面接とは別に、学科試験（国・算2科目）と個別面接試験を実施します。

Q7: 自己アピールの内容が良くなければ不合格になりますか。また自己アピール型で受験する受験生は奨学金の対象となりますか。

自己アピール面接は出願者の良い面・プラスの面を引き出して評価するために実施しています。マイナス評価には用いませんので、自己アピールの内容によって不合格になることはありません。

また、自己アピール型で受験する受験生も奨学金判定の対象になります。ただし自己アピールの内容が奨学金判定に直接的な影響を与えることはありません。

Q8: 自己アピール型で受験したいのですが、通知表のコピーが出願締め切り日までに準備できません。

自己アピール型入試の出願締め切り日までに通知表のコピー以外の出願書類をご提出ください。通知表のコピーは**学力重視型の締め切り日までに到着**する形で別途郵送いただければ幸いです。期日までに通知表のコピーの郵送ができない旨を、予め本校入試広報課（0572-66-3140）までご連絡ください。

Q9: 自己アピール型と学力重視型のどちらが合否に有利ですか。

どちらとも言えません。単純に判定だけを考えると自己アピール型が有利ですが、教科の受験勉強に専念できるという意味では学科重視型の方が有利です。

ただし、自己アピールではこれまでの努力や取り組み、その熱意を見ますので、「入学試験のための自己アピール」と思って準備をすると、望ましい判定は得られません。自己アピール入試は、あくまでも継続的に打ち込んでいること、また日ごろから努力していること、今後も何らかの形で自分の人生に活かしたいことをアピールするための方式だにご理解の上で、いずれかを選択してください。

《参考 自己アピール申請書》

* 以下は見本です。実物ではありません。様式は本校ホームページからダウンロードしてください。

自己アピール申請書 （令和7年度麗澤瑞浪中学校1期入試 自己アピール型出願者用）

* 欄には何も記入しないこと

ふりがな	
志願者氏名	

受験番号	*
------	---

あなた（志願者）がアピールしたい内容・形式について、それぞれの欄内の注意事項に従って記入しなさい。すべて志願者本人が自筆（鉛筆またはペン）すること。

なお、提出後の発表内容の変更、申請書に記入された内容の訂正はできません。

アピールの 内容・形式	1：口頭発表 2：実技発表 3：読書プレゼン 4：英語スピーチ ※1～4の中から一つを選び、左の枠に数字を記入してください
発表の題名	※アピールする内容について、わかりやすく簡潔に説明した題名をつけてください
発表の内容	※発表したい内容を説明してください。イラストを用いてもかまいません
発表の方法	※用いたい道具や発表の会場（普通教室または体育館）など、発表したい方法を説明してください。イラストを用いてもかまいません。

評価して ほしいところ ・ 質問して ほしいところ	※発表する内容において、評価してほしいところ、面接官に質問してほしいところについて、 自由に記入してください。
--	--

○その他の注意事項

- 書かれている文章やイラストの量が、直接合否に影響を与えることはありません。
- 申請書のそれぞれの項目については、欄内に収まるように記入してください。余白に記載をしたり、次に示す書類以外の資料を添付したりすることはできません。
- 発表したい内容の成果を客観的に証明する資料（通知表以外の成績表・合格証・証明証・賞状・新聞・パンフレットなど）のコピーを 2 部まで添付することができます。ただし、それらの資料のコピーはすべてA4サイズ（片面）に揃えて、この申請書と一緒に提出してください。なお、追加資料の提出は任意ですので、全員が提出する必要はありません。
- 発表の時間はおよそ3分です。発表の内容を記した原稿、スマートフォンなどの ICT 機器、動画再生機器や音楽再生機器などの視聴覚機器を試験会場に持ち込むことはできませんが、発表時間の目安は発表者に伝わるようにします。